

情報通信審議会 情報通信技術分科会

電波利用環境委員会 CISPR I 作業班(第 21 回)

議事要旨

1 開催日時：令和 8 年 7 月 29 日（水）13:30～14:50

2 開催場所：Web 会議開催（Cisco Webex）

3 出席者（敬称略）

【構成員】秋山主任(NTT-AT)、堀主任代理(SONY)、赤澤構成員（パナソニック）、雨宮構成員(VCCI)、伊藤構成員(NHK)、長部構成員(VCCI)、加藤構成員(REEA)、川脇構成員(JBMIA)、小寺構成員(JEMA)、曾根構成員(東北大)、千代島構成員(NICT)、永野構成員(ARIB)、縄田構成員(TELEC)、乗本構成員(KEC)、星野構成員(CIAJ)

【関係者】島先関係者(VCCI)

【事務局】総務省：加藤電波監視官、中村電磁障害係長(記)、内田官

4 議事概要

(1) CISPR I 小委員会 MT 等 国際会議審議結果

MT7 の審議結果について、千代島構成員より、資料 21-1-1 に基づき説明が行われた。補足・質疑応答は以下のとおり。

秋山主任：APD 許容値については、共通規格に整合させることが決まっているわけではないという理解でよい。

千代島構成員：具体的に使用される製品により、APD 許容値が決定されると認識している。共通規格とマルチメディア規格が扱う製品が異なる場合、同じ規格を使用するべきではない。

次に、MT8 の審議結果について、星野構成員より、資料 21-1-2 に基づき説明が行われた。補足・質疑応答は以下のとおり。

秋山主任：CISPR35 第 2 版について、CDV から FDIS（最終国際規格案）を発行せず、IS（国際規格）を発行する予定であるのか。

星野構成員：IEC 中央事務局からの回答待ちの状況であり、まだ結論が出ていない。

秋山主任：日本から出した技術的意見のうち 4 件が検討されるとのことだが、技術的な意見に基づく変更は行わない方針ではなかったか。

星野構成員：今後の進め方としては、技術的な意見に基づく変更は行わず、エディトリアルな修正のみを行った上で、IS に反映することになる。

(1) CISPR I 小委員会 ハンブルク会議 総会 対処方針(案)について

秋山主任より、資料 21-2-1 に基づき説明が行われた。特に質疑応答はなく、承認された。

次に、千代島構成員より、資料 21-2-2 に基づき説明が行われた。補足・質疑応答は以下のとおり。

秋山主任：CISPR32 のメンテナンスに挙げられている 6 項目以外で、議論になりそうなテーマはあるか。

千代島構成員：WPT に関する議題が審議される予定。

秋山主任：対処方針に WPT に関する審議項目の追加をお願いしたい。

次に、星野構成員より、資料 21-2-3 に基づき説明が行われた。補足・質疑応答は以下のとおり。

秋山主任：コンビーナの後任については、議題となる可能性があるか。

星野構成員：総会で審議が行われると考えられ、MT8 において、議題とする情報は現時点ではない。

(2) 電波利用環境委員会 報告(案)について

秋山主任より、資料 21-3-1 及び資料 21-3-2 に基づき説明が行われた。補足・質疑応答は以下のとおり。

千代島構成員：CISPR32 の FDIS 案の検討について、8 回のオンライン会議の開催とあるが、9 回に修正をお願いしたい。

秋山主任：会議開催回数を 9 回に修正する。

(3) CISPR I 小委員会 参加者(案)について

参加者案について、秋山主任より、資料 21-4 に基づき説明が行われた。特段の意義はなく、承認された。

(4) その他

資料 21-3-1、資料 21-3-2 及び資料 21-4 を、8 月 19 日(水)に開催される電波利用環境委員会(第 68 回)で報告する。

次回の作業班については、事務局より別途連絡する。

以上